

Ⅱ．平成25年の主な密輸入摘発事例

1．覚醒剤

【製粉機の内部に隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成25年3月、横浜税関は、メキシコから横浜港へ到着した海上コンテナ貨物の検査において、製粉機のローラー内部に隠匿していた覚醒剤約240kgを発見、摘発した。



【模造鉄鉱石の内部に隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成25年5月、神戸税関は、メキシコから神戸港へ到着した海上コンテナ貨物の検査において、模造鉄鉱石に隠匿していた覚醒剤約194kgを発見、摘発した。



【船舶乗組員等による覚醒剤密輸入事犯を摘発】

平成25年7月、名古屋税関は、名古屋港に停泊中の外国貿易船から覚醒剤約10kgを密輸入した韓国人男性等を発見、摘発した。



【鳥形木製置物に隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成25年3月、東京税関は、ドイツから成田空港へ到着したドイツ人女性の携帯品検査において、鳥形木製置物内に隠匿していた覚醒剤約4kgを発見、摘発した。



【スーツケースを二重工作して隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成25年11月、東京税関は、バングラデシュから成田空港へ到着したドイツ人男性の携帯品検査において、スーツケースを二重工作して隠匿していた覚醒剤約4kgを発見、摘発した。



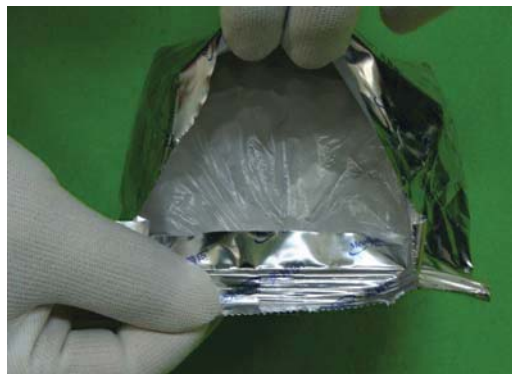
【糸巻に隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成25年7月、東京税関は、インドから成田空港へ到着した台湾人男性の携帯品検査において、スーツケース内に収納していた糸巻を細工して隠匿していた覚醒剤約9kgを発見、摘発した。



【粉ミルク紙箱内に隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成25年11月、門司税関は、中国から福岡空港へ到着したドイツ人男性の携帯品検査において、粉ミルクの紙箱内に隠匿していた覚醒剤約5kgを発見、摘発した。



2. 大麻

【脱脂粉乳表示の箱内に隠匿していた大麻草を摘発】

平成25年2月、東京税関は、米国から到着した小包郵便物の検査において、脱脂粉乳表示の箱内にビニールで圧縮して隠匿していた大麻草約1kgを発見、摘発した。



3. その他不正薬物

○コカイン

【衣類等に浸み込ませて隠匿していたコカインを摘発】

平成25年4月、名古屋税関は、ブラジルから到着国際スピード郵便物及び小包郵便物の検査において、衣類等に浸み込ませて隠匿していたコカイン約2kgを発見、摘発した。



○ヘロイン

【スーツケースを二重工作して隠匿していたヘロインを摘発】

平成25年4月、大阪税関は、タンザニアから関西空港へ到着したタンザニア人男性の携帯品検査において、スーツケースを二重工作して隠匿していたヘロイン約3 kgを発見、摘発した。



【通常郵便物に隠匿していた α -PVPを摘発】

平成25年5月、大阪税関は、米国から到着した通常郵便物の検査において α -PVPを含有する植物片約5 gを発見、摘発した。

